

構成員名	令和4年度活動計画			構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等	
信州諏訪農業協同組合	<p>【湖沼の対策】</p> <p>① (1) 下諏訪「環境の日一斉清掃」参加 5月29日(日) (2) 岡谷市「諏訪湖・河川一斉清掃」参加 5月29日(日) (3) 諏訪市「春の全市一斉清掃」参加 5月29日(日) ② 諏訪湖に関する学習活動に参加 ③ 手作業によるヒシ除去作業に参加 ④ 諏訪湖を綺麗にしちゃいましょう大☆作☆戦に協賛</p> <p>【流出水対策】</p> <p>① 土壌診断事業による適正施肥の推進 ② わたしの肥料による減肥の取組拡大 ③ ヒシ堆肥(すわこヒシパワー) 販売 ④ 肥料・農薬等かけ流し防止 ⑤ 環境にやさしい農業への取組 ⑥ GAPへの取り組み</p>	<p>① 全役職員 ② 職員 ③ 職員</p>	<p>① 役職員全員*が環境整備に参加 (*諏訪湖周に勤務または居住) ②～④ 要請に対応</p> <p>① 土壌診断事業への支援 ② 個人単位施肥設計 オリジナル肥料取扱増 ③ 水稻指導会による止め水管理の徹底 ④ JA助成(水稻 レス50+カバークロープ) ・フェロモントラップの情報発信で適期防除を推進 ⑤ 指導会開催による生産者への理解促進</p>	
諏訪湖漁業協同組合	※今年度の会議に不参加			
諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト	<p>① 他の団体等とも連携して、諏訪湖及び湖周小河川でのカヤック・カヌー体験講習の実施(5月8日、7月17日、9月4日、10月2日)</p> <p>② 湖畔及び市内河川清掃(ゴミ拾い)</p> <p>③ 諏訪市内を流れる河川を水辺から見直し、 【水郷の街】として、その復活の可能性を探る。</p> <p>④ 3年目の「諏訪湖の日」のイベント10月2日カヤック・カヌー漕ぎあるき企画</p>	<p>① 漕ぎあるきプロジェクト ② NPO 法人絆 JAPAN ③ 諏訪湖カヤック</p>	<p>湖周小河川の清掃活動などを行いながら、街中河川の持つ自然環境・カヤック航行の維持を管理者と共に、かつての水路としての機能をカヤック・カヌーを利用して【水郷の街・学びのフィールドワーク】として復活させ、中門川・衣の渡川などをカヤックの周遊コースとして新たなアクティビティの創出を探る。 ※河川管理者との連携・意識の共有を持ちたい。</p>	<p>湖周小河川の清掃活動などを行いながら、街中河川の持つ自然環境・カヤック航行の維持を管理者と共に、かつての水路としての機能をカヤック・カヌーを利用して【水郷の街・学びのフィールドワーク】として復活させ、中門川・衣の渡川などをカヤックの周遊コースとして新たなアクティビティの創出を探る。 ※カヤック・カヌーで利用しやすく、漕ぎやすいフィールドの創生を具体的に河川管理者と話し合いをお願いしたい。</p>

構成員名	令和4年度活動計画			構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等	
下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	① 湖岸清掃：4月～3月（12回） ・毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。 また、町による町内一斉清掃活動へも協力。（5月、10月） 【4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 ② 水辺のごみ調査：4月～11月（6回） ・湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。 【4月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 ③ アレチウリの除去作業：4月～9月（6回） ・湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。 【4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 ④ 諏訪湖浄化講演会の開催 ・下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会の40周年記念事業の代替事業として諏訪湖浄化や河川のごみ問題を考える講演会を開催予定。 ⑤ 小学生に対する環境学習 ・小学生に対する環境学習を実施し、身近な環境について学んでもらう。 ⑥ 諏訪湖クリーン祭の開催：8月11日（木・祝） ・各団体によるブース展示、湖上観察会や親子のボート教室などを通して、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。	① ・②・③・④ 下諏訪町民、湖浄連会員等 ⑤ 下諏訪町内小学生 ⑥ 下諏訪町民、湖浄連会員、各種団体等	① 諏訪湖に漂着したごみを拾うことで、環境美化及び景観の保持につなげる。 ② 清掃参加者でグループを作り、湖岸清掃で拾ったごみの種類と量を記録する。継続して実施することで、ごみの多い場所や時期、種類など諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化活動につなげていくための資料とする。 ③ 湖岸清掃に合わせてアレチウリの除去を行うことで在来種を守り、生態系の保全につなげる。 ④ 諏訪湖に関する講演会を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会とする。 ⑤ ごみが環境へ与える影響を学び、実際のごみ拾い体験やグループでのまとめを通して、ごみ問題についての理解を深めてもらう。 ⑥ ブース展示や様々な催しを通して、参加者に楽しみながら諏訪湖とふれあいを持ち、諏訪湖に親しんでもらう。	昨年度、下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会（湖浄連）は設立から42年を迎えました。 今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため行うことが出来なかった設立40周年記念事業の代替事業を行います。 これからの活動が、美しい諏訪湖を次の世代へ受け継がれていく礎になるように活動を進めていきます。
諏訪湖クラブ	① ヒシ除去作業への協力（長野県の設定時期） ② 全国一斉水質調査に参加（世界環境デー6月6日、諏訪湖・天竜川水系30地点を担当。「信州水環境マップネットワーク」による長野県内全域の水質状況マップを作成。 ③ 諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局に参加、事務局会議に出席（2か月に1回） ④ 諏訪湖浄化関連事業：ナノバブルを利用した諏訪湖の浄化実験の実施（平成29～30年度）結果を参考にして、沿岸域での水質・底質浄化計画を策定し、関係自治体、関連民間企業の協力を得て実施に向けての作業を行う。 ⑤ 中学生、一般向け諏訪湖読本「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」（2020年印刷済み）の続編作成とメディアとの連携による諏訪湖環境保全推進活動の実践的取り組み ⑥ 理事会（毎月1回）の開催と年1回の総会開催	① 若干名 ② 8名＋長野県内30団体 ③ 事務局会議4名参加、諏訪湖通信編集2名 ④ 会員10名、関連自治体、民間企業 ④ クラブ員全員 ⑤ 理事会は毎回10～15名出席	① ヒシの繁殖現状を把握、課題を理解 ② 全国運営委員会に長野県代表として参加、長野県内の水質ネットを運営、約30団体により、約380地点での測定を行い、長野県水環境マップを作製する。結果は各地の環境フェアにて公開、参加者の拡大を図る。 ③ 毎回の事務局会議で推進会議の運営について意見交換し、毎月発行の「諏訪湖通信」編集に協力、諏訪湖に関わる情報を紹介する ④ 昨年度までの、湖水の上下循環システムの手法とナノバブル利用の有効性、水中カメラによる現場状況確認の有効性等の成果を基礎にして、現実の諏訪湖浄化への適用課題を整理し、諏訪湖沿岸域浄化への現実的適用案を策定、提案する。（継続） 2020年に完成、印刷した「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」の続編を企画、作成し広く配布し、活用を進め同時に諏訪地域のメディアと協力しての広報活動の在り方を健闘する。（継続） ⑤ 事会は拡大理事会として会員の参加は自由とし、会員以外への出席もあり、地域の課題等について意見交換を行い、他団体、地域自治体との協働活動への参加を進めている	現在の取組の中心は諏訪湖のさらなる浄化と環境保全活動への協力として公民協働による環境保全活動の推進手法の提案である。 諏訪湖創生ビジョンが掲げている「泳ぎたくなる諏訪湖」実現に向けての具体的な提案、試行と実践的な公民協働ができることを期待している。 諏訪湖浄化が単なる湖の浄化活動ではなく、地域の環境保全を意識した諏訪地域全体のまちづくりの一環として行われることを常に念頭に置いて進めていきたい。

構成員名	令和4年度活動計画			構成員へメッセージ																					
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等																						
諏訪湖白鳥の会	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動日</th> <th>活動内容（横河川河口）</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.5.29</td> <td>アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>4.6.19</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>4.8.21</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>4.10.16</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>4.10.19</td> <td>草刈り</td> <td>4人（他に県・市数人）</td> </tr> <tr> <td>4.11.中旬～</td> <td>白鳥の観察、記録～5.2.下旬まで</td> <td>毎朝1～2人</td> </tr> </tbody> </table>	活動日	活動内容（横河川河口）	人数	4.5.29	アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い	4人	4.6.19	草刈り、ゴミ拾い	4人	4.8.21	草刈り、ゴミ拾い	4人	4.10.16	草刈り、ゴミ拾い	4人	4.10.19	草刈り	4人（他に県・市数人）	4.11.中旬～	白鳥の観察、記録～5.2.下旬まで	毎朝1～2人	左記のとおり	白鳥飛来地の環境整備により、湖岸来訪者に良好な景観を提供し、諏訪湖への理解を深めてもらう。	
活動日	活動内容（横河川河口）	人数																							
4.5.29	アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い	4人																							
4.6.19	草刈り、ゴミ拾い	4人																							
4.8.21	草刈り、ゴミ拾い	4人																							
4.10.16	草刈り、ゴミ拾い	4人																							
4.10.19	草刈り	4人（他に県・市数人）																							
4.11.中旬～	白鳥の観察、記録～5.2.下旬まで	毎朝1～2人																							
NPO 法人諏訪市セーリング協会	行事計画 4/17 協会所有クルーザー下ろし 4/29 総会 5月～9月 ハーバー水草取り ヨット講習会 5月～10月 ヨットハーバーポンド内ヒシ取り作業 6月～10月 マンスリーレガッタ 6/11,12 ソリング級東日本選手権大会 7/2 トヨタソーシャルフェス 7/7～9 諏訪湖水草取り作業 7/18 ヨットジャンボリー 7/26 水難救助訓練 8/1～15 諏訪湖花火 TwoWeeks 警備 8月 上諏訪中学校生徒 ヒシ取り体験 9/3 諏訪湖新作花火競技警備 10/8, 9 ソリング全日本選手権大会 10/10 諏訪市スポーツ祭開会式及びヨット競技大会 10月 諏訪湖清掃 11/6 クラブ対抗ヨットレース及び協会所有クルーザー陸揚げ 学生ユニット「Fream」清掃活動協力	水草取り、ヒシ取り、浮遊物回収（県及び諏訪市との連携協力）		・当会及び水の会の協力を得て「諏訪湖浄化プラン」を実施予定しております。 内容は、ウルトラファインバブル「ナノバブル」装置を設置し、定期的に上諏訪中学校の生徒たちがデータ取りを行いながら水質の変化について研究いたします。設置場所は諏訪市が管理する公園野外音楽堂付近の護岸を予定しております。 ついては、推進会議の皆様のご理解ご協力と、特に設置については建設事務所の許可に対するご協力をお願いいたします。 ・女子高生ユニット「Fream」の学生を中心にごみ拾い等諏訪湖清掃を実施いたします。																					
美サイクル茅野	上川アダプトプログラムに参加し、上川流域の河川清掃及び草刈り等を実施。 第1回 令和4年4月（中止）、第2回 令和4年7月、第3回 令和4年10月	上川アダプトプログラムに登録された市内企業、団体等		諏訪湖及びその周辺のごみが少しでも減少し、きれいな諏訪湖にするための活動を継続していくことが必要であると思います。																					
諏訪地区労働者福祉協議会	・諏訪湖創生ビジョン推進会議を始め、ヒシ除去作業等への事業への参加・協力 ・河川愛護活動等の環境整備への協力	加盟9団体及び解明団体の構成団体	定期総会資料にて「諏訪湖創生ビジョン」に係る取組を紹介し、当団体としての取組方針を確認した	諏訪湖の環境保全が少しでも前進していることを嬉しく思います。多くの方へもっと周知をしてください。																					
（一社）諏訪観光協会	①通年でのスイッチの取り組み ②諏訪湖開き 4月11日八劔神社にて神事のみ執り行う。関係者のみで開催済み ③ニコニコ超会議2022 4月30日 初島周辺にて開催済み ④サマーナイト花火 7月下旬から8月下旬（8月1日から15日除く）での実施を計画中。 ⑤わかさぎ釣り安全祈願祭 10月開催予定 ⑥諏訪湖遊覧船初日の出号 令和5年1月1日 未定 ⑦諏訪湖での体験プログラムの開発	①連携：岡谷市観光協会、下諏訪観光協会、諏訪商工会議所 ③連携：諏訪商工会議所、諏訪市	全体：新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み対応。実施の場合は、感染症対策を十分に実行実施。 ①スイッチについては、諏訪湖周辺にも行動範囲を広げるような展開を計画。（例：諏訪大社四社めぐりなど） ⑦ワーケーションでの活用。チームビルディングに活用できるプログラムを開発し、旅行会社などを通じて販売できる環境を整える。	感染状況に鑑み、事業実施を行って参ります。令和4年度は、afterコロナを視野に入れた事業実施を計画しております。																					

構成員名	令和4年度活動計画			構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等	
建設業協会諏訪支部	<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動（諏訪湖アダプトプログラム）の実施 令和4年6月、8月、10月 その他、会員企業によるアダプトプログラムの実施 諏訪湖創生ビジョン推進会議によるヒシ除去作業への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動への参加者は延べ25名程度 推進会議によるヒシ除去作業への参加者は前年並み 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化 	
諏訪湖ライオンズクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ① 10月6日（予定）諏訪湖創生ビジョン参加 ② 3月環境保全事業 	<ul style="list-style-type: none"> 諏訪湖ライオンズクラブ会員ならびに諏訪地域の青少年とともに参加予定 	<ul style="list-style-type: none"> 生態系への影響などが懸念される浮葉植物のヒシが諏訪湖面に大量繁茂しているため、その実を集め活用しようと挑む“NPO法人諏訪市セーリング協会”のヒシ取り活動に協力 その他、初島の清掃 	
一般社団法人大昔調査会 曾根遺跡研究会	<ul style="list-style-type: none"> 1) 「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第3集」作成 「日本遺産：星降る中部高地の縄文世界」を構成する文化財（遺跡・史跡）及び周辺観光スポットを紹介するウォーキングガイド第3集作成事業（3月末完成予定） ⇒ 市民の学習や観光客の見学等に活用 （2）「すわ大昔フォーラム」諏訪の歴史・考古学講座（諏訪市博物館・ふるさと文化を語り継ぐ会と共催） 当面は、オンライン講座を併用して開催（通年で年6回以上） 	<ul style="list-style-type: none"> （1）ウォーキングガイド第2集の原案作成のため、会員・市民が参加する。（10名×6市町村分） （2）「すわ大昔フォーラム」諏訪の歴史・考古学講座（諏訪市博物館等と共催）講座は年6回以上×平均視聴者約100名） 	<ul style="list-style-type: none"> （1）「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第2集」作成・完成→6市町村などに配布（3月末予定） ⇒ 市民の学習や観光客の見学等に活用 （2）諏訪市博物館と共催する「すわ大昔フォーラム」等について、当面はオンライン講座を併用して連続開催する。社会情勢が回復すれば、対面方式の講座等も計画する予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 諏訪湖の保全や市民による学習に際して、湖底「曾根遺跡」や、諏訪湖周辺の遺跡・史跡の存在を意識し、明確化したいと思っています。 歴史、文化系のイベントでお手伝いできることがあればご連絡ください。
株みのり建設環境事業部	<ul style="list-style-type: none"> ヒシと周辺地域の雑草や霧ヶ峰のススキ等の刈草を用い、持続可能な循環型社会の実現に向けた研究を実施。 通年：食品製造会社からの動植物性残さ、学校給食などの生ごみ、地域の草木類や牛ふんを原料にした堆肥づくり。 夏期：ヒシの受入、堆肥化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の子供達、農業者、環境活動参加者 	<ul style="list-style-type: none"> 諏訪湖の有機物資源の農地還元。 	
一般社団法人諏訪湖ミズベリング振興協会	<ul style="list-style-type: none"> ○延期になっているミズベリング会議の開催 諏訪湖ミズベリング開発に関連する研究会・講演会・先進地事例等の紹介 10月・11月予定○水辺の社会実験 水辺での新しいアクティビティを考える ○ミズベリングインスパイアフォーラム 2022 参加およびオンライン参加者募集 6月21日 14時30分～ ○全国一斉の水辺で乾杯(2022)を実施 ○民間ヒシ取り(ヒシ刈り)船の導入とヒシ刈り実験 6月下旬より ○未来に諏訪湖を残すための講演会開催(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミズベリングに興味のある方・一般参加者・事業者他行政関係 ・サポート ミズベリングプロジェクト事務局 	<ul style="list-style-type: none"> ・未来に諏訪湖を残すための講演会開催の集約 ・ヒシ刈り船導入の効果と諏訪湖のヒシの状況を把握すること ・河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定の許可取得を目標にミズベリングを理解してもらう。 そのためのミズベリングインスパイアフォーラム 2022 参加およびオンライン参加者募集 ・民間活力の積極的な参画で、水辺とまちを考える。 ・地域経済活性化のための観光振興として水辺の新しい活用の可能性を考える。 ・水辺で楽しむ人、水辺でまちを変えたい人、水辺でビジネスを作る人、やりたい人を増やす。 ・全国のミズベリングネットワークとの情報交換。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスによる諏訪湖花火大会等の野外イベントの密をどうするか早急に検討が必要…経済的効果のある新しい様式（ニコニコ動画等による配信）など諏訪湖からの発信 諏訪湖を未来に残すための検討が必要。諏訪湖がなくなる危機感の共有。
長野県ボート協会	<ul style="list-style-type: none"> 4/24 諏訪湖ロングレース 5/21, 22 信毎諏訪湖レガッタ 8月 漕艇場周辺の水草除去 時期未定 親と子のボート教室（下諏訪町漕艇協会主催事業への協力） 9/4 下諏訪レガッタ 	<ul style="list-style-type: none"> ①大会出場者（学校、地域住民その他） ②長野県ボート協会 役員 ③地元中学・高校ボート部員、地域住民など 	<ul style="list-style-type: none"> 各種ボート大会、イベントの開催により、諏訪湖とスポーツに親しむ機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 長野県ボート協会

構成員名	令和4年度活動計画			構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等	
環境市民会議 おかや	①ヒシ除去体験事業 ②ヒシ除去作業への協力（諏訪湖創生ビジョン） ③ヒシ除去啓発チラシの活用 ④環境セミナー	①市民 ②役員 ③事務局 ④市民	①除去による貧酸素対策だけではなく、諏訪湖の現状を知る啓発活動として実施。（7/9） ③作成したヒシ除去啓発チラシを活用し、ヒシを通じて諏訪湖の現状を啓発する。 ④環境に関するテーマで講演会を行う。（8月予定）	
岡谷ライオンズクラブ	1 諏訪湖創生ビジョン推進会議参加・ヒシ除去作業に参加 7月 諏訪湖ヨットハーバー・百景園横 初島周辺 2 諏訪湖ヒシ除去体験事業に参加 7月中旬 岡谷市湊・船着場 3 諏訪湖アダプトプログラム参加（諏訪湖清掃） 10月中旬 諏訪湖ハイツ D51 前 4 環境セミナー参加① 10月下旬 諏訪建設事務所 5 諏訪湖アダプトプログラム報告会参加 2月頃 諏訪合同庁舎 6 環境セミナー② 3月頃 諏訪建設事務所 7 4LC 合同アクティビティー環境保全諏訪湖清掃 3月下旬 諏訪湖ハイツ D51 前 8 諏訪湖アダプトプログラム参加（諏訪湖清掃） 5月未定（日） 諏訪湖ハイツ D51 前	1 三役・第三副会長。環境保全委員会委員長・両副委員長・クラブ会員 2 三役・第三副会長。環境保全委員会委員長・両副委員長・委員（3名程） 3、7、8 三役・第三副会長。環境保全委員会委員長・両副委員長・委員クラブ会員・家族会員 4、6 環境保全委員会委員長・両副委員長・出席希望の環境保全委員 5 委員会・両副委員長	① 学習会によって、学校での環境活動の内容・現在諏訪湖で何が起きているのかが解かりやすく理解できる。 ② 手作業によるヒシ除去作業の体験 2 岡谷市 湊・船着場付近のヒシを手作業で除去 3 湖岸や河川の清掃 4 岡谷市環境課より連絡依頼 5 諏訪湖アダプトプログラム参加報告書の提出 6 諏訪建設事務所主催 7 湖岸や河川の清掃 8 湖岸や河川の清掃	2 ヒシ取り除去作業は、舟の淵から浄反志位・腕を投げ出してヒシを引き抜くので、脇屋上腕をすることがあってかぶれる恐れがあるので、袖がぬれても長袖のものを着ていた方がいいと思います。
太陽工業グループ	河川愛護活動（諏訪湖アダプトプログラム）の実施 令和4年6月、9月、12月、3月（コロナ状況により判断） ・本業における排水処理における水質管理徹底 ・環境管理委員会による環境負荷低減活動 ・緊急事態対応訓練実施（廃油などの漏洩防止） ・社内ボート部を創部。活動を通して諏訪湖の学びにつなげる ・諏訪湖創生ビジョン推進会議、諏訪市環境委員会への参画 ・持続可能な循環型社会の実現に向けた研修を実施 ・地域学校への環境教育の実施（キャリア教育の範疇にて）	・太陽工業グループ 社員 ・太陽工業株式会社 経営企画部	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化（ヨットハーバー付近） ・排水設備の保全管理（異常0件／年） ・毎月の経営会議でPDCA⇒MR 会議にて報告（2回／年） ・訓練実施（2回／年） ・ヒシや水草の除去、活動から諏訪湖環境の状況を啓もう ・会議に毎回参画 ・SDGs研修（6回／年） ・都度実施	

新たな取組には ○マークを付してあります。